



古庄 タリオ 聡志 (フルショウ タリオ サトシ) さん

出身国：ペルー

出身大学：聖学院大学

専攻：人間福祉学部人間福祉学科

内定先：バンダイ株式会社

□日本に留学した動機

私は、ペルー出身ですが7歳のときに両親とともに祖母の母国、日本にやってきました。そして、日本の小学校に転入し、中学、高校、大学と日本の学校に進みました。最初は日本語がまったくわからず、慣れるまで本当に大変で苦労しました。両親は日本語がまったくしゃべれなかったので、家の中ではスペイン語で通すことをルールとして強いられました。そのおかげで大人になってもスペイン語を忘れずにいることができました。

□日本で就職する理由

私は、小学校以来ずっと日本で育ちましたので、自然に日本で就職したいという気持ちになっていました。ただ、できれば自分にはスペイン語が話せるという特技がありますので、それを活かせる仕事に就きたいと考えていました。大学での専攻は福祉関係でしたので、その方面へ進む道もありましたが、それは最後の手段として考えることにしていました。

□現在の就職先の選択理由

私が内定した会社は、希望していたスペイン語が活かせる会社として GGS から紹介されました。その会社では、これからメキシコに工場進出する計画があり、ちょうどネイティブレベルのスペイン語人材を探しているところだったので。

□企業への自己 PR、アピールポイント

面接では、自分の特技であるスペイン語と人柄をアピールしました。特にスペイン語についてはネイティブレベルであることをアピールしました。幼少期から日本で育ったので、日本語も日本人と誤解されるくらい話しますので、逆にスペイン語がネイティブレベルであることに疑問を抱かせたのですが、両親が日本語を話せず、家ではずっとスペイン語で通していることなどを説明して納得してもらいました。また、後から知った話

ですが、GGS から社長に、私のスペイン語レベルや人柄についてフォローアップしていただいていたようです。

□就職活動開始時期と応募企業数

厳密に言うと大学に入ったときからです。とにかく就職に不安があったので先輩に相談したところ、大学にキャリアセンターというところがあるというのを教えてもらいました。そして、本格的に就職活動を始めたのが、大学3年生の夏休みぐらいからで、キャリアセンターでGGSを紹介されてからです。

応募企業数：3社 内1社に面接し内定。

□具体的な就職活動内容

大学3年生の夏休みに毎日ではありませんが、「外国で就職したい」もしくは「外国語を活かして就職したい」ということで、キャリアセンターに相談しました。しかし、結局大学からは1社の紹介もありませんでした。(笑)

その代り、そういうところを紹介してくれる機関をいくつか紹介してくれました。その中の一つがGGSでした。GGSは、私の希望に該当する会社を具体的に紹介してくれました。他のところは、合同会社説明会等の紹介ばかりで具体的な会社の紹介はありませんでした。マイナビやリクナビにも登録していましたが、メールがたくさん来るばかりで、パソコンと会話しているようだったので、人と会話することが好きな自分には合わないなと思いました。なので、あまり利用しませんでした。

□GGSについて

GGSに登録したときに、その2~3日後にGGSから電話がかかってきて、驚きました。というのは、他のところのようなメールでの返答ではなかったからです。「こういうところだったら信用できるかもしれない。」そのときの私の第一印象でした。何か血の通ったサポートをしてくれそうな感じがしたのです。それで、その直後にはもうGGSを訪問して面談による相談に行っていました。



GGSを訪問してさらに私をびっくりさせたのは、私がスペイン語が得意だということ、即座にその場でスペイン語で面接されたことです。お陰で、私のスペイン語が、資格や級ではなく、生の言語としてネイティブレベルであることを証明してくれました。

お陰で割とすんなりと希望したスペイン語を活かせる会社に内定できたわけですが、8月に口頭で内定の連絡を受けた後、10月になってもなかなか内定書等の書面が届かないのでとても不安でした。そんなとき、たまたまGGSから電話があり、そのことを伝えると即対応を取っていただきました。それから数日すると無事内定書をいただくことができました。

□事前準備、企業研究

企業の HP 等で事業内容等を調べると同時に、大学のキャリアセンター等に照会をかけて、自分の情報と照合し確認をするようにしました。GGS の紹介してくれた企業は、すべて優良企業だということが確認ができました。

□エントリーシート、履歴書

大学が自宅から近かったので、自分で書いたものを大学のキャリアセンターに持っていき添削してもらったりして仕上げました。

□面接での注意点

100%の自分をどうやってアピールしようかと考えました。礼儀作法については、小さいころから両親から言われて育っていたので、いつも通りでいい、自然体で行こうと思いました。高校時代に面接時の作法について指導を受けたことがあり、覚えていたので、それが役に立ちました。

□抱負と将来設計

いままで両親の庇護のもとで甘やかされて育ってきましたので、社会人になったら思い切り仕事がしたいと思っています。基本、勉強は苦手ですが、好きなことならするので、スペイン語を活かして海外の人とやり取りをしながら、文化の違いや考え方の違いがどこまで、どのようにあるのか学びながら成長できたらと思っています。

そして将来は、社長からも期待を込めて言われていることですが、現地工場長になって人の上に立つ人間になりたいと思っています。

□後輩へのアドバイス

私は、人は不安にならないと行動しないと思っています。だから、不安になることは恐れる必要はありません。就職について不安があったら行動してください。聞く、話す、調べることを繰り返してください。相手が見つからないときは大学に聞いてみてください。私の場合、大学から GGS を紹介され、GGS から内定した会社を紹介してもらいました。

最悪なのは、不安でいながら何も行動しないことです！

□GGS から一言

ダリオさんが内定を勝ち取った会社は、日本では中小企業に分類される自動車や家電の電装部品メーカーです。しかし、社長は若く 30 代のやり手で、本社工場のほかにベトナムには従業員 400 余名の工場があり、今後もメキシコやアセアン諸国への展開を図っている急成長企業です。しかし、ダリオさんが GGS に登録しなければ、その会社に出会うことはなかったでしょう。

古庄 ダリオ 聡志さん、就職内定、本当におめでとうございました！